



## 2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月29日

上場会社名 前澤化成工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7925 URL <https://www.maezawa-k.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 窪田 政弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼上席執行役員管理本部長 (氏名) 伊東 正博

TEL 03-5962-0711

四半期報告書提出予定日 2021年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	15,584	7.6	597	25.1	808	17.6	481	20.9
2020年3月期第3四半期	16,863	1.9	798	46.6	981	35.1	608	17.9

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,000百万円 (14.0%) 2020年3月期第3四半期 877百万円 (175.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	32.46	
2020年3月期第3四半期	40.87	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	43,888	36,844	84.0
2020年3月期	43,890	36,367	82.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 36,844百万円 2020年3月期 36,367百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		15.00		20.00	35.00
2021年3月期		15.00			
2021年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,055	5.6	845	9.1	1,085	7.1	695	2.3	46.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	15,732,000 株	2020年3月期	15,732,000 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	913,409 株	2020年3月期	913,349 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	14,818,613 株	2020年3月期3Q	14,881,223 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けて、企業収益や雇用情勢が急速に悪化するなど厳しい状況で推移しました。緊急事態宣言の解除後は、段階的な経済活動の再開とともに一部の業種では回復の兆しが見られましたが、新型コロナウイルス感染症の感染者数は年末にかけて再び急速な増加傾向に転じており、国内経済の先行きは、依然として不透明な状況にあります。

当社グループと関連の深い上水道・下水道業界及び住宅機器関連業界におきましても、戸建住宅を中心に新設住宅着工戸数が前年同期に比べ10%程度の落ち込みを見せており厳しい事業環境にあります。

このような状況の中、当社グループは、新型コロナウイルス感染症の感染予防と業績への影響を最小限に抑え効率的な事業運営を図ることを目的とした対策本部を設置し、衛生管理の徹底や通勤時の感染リスクを低減するための時差出勤・テレワーク勤務体制の構築などの対策を講じつつ、中期経営計画「TakeAction2020」の最終年度として、各施策への取り組みを続けてまいりました。

当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う新設住宅着工戸数の落ち込みの影響を受けて、主力事業である管工機材分野において売上が減少したことや各種プラスチック成形分野において、受注額が大きく減少したこと等により、売上高、利益ともに前年同期を下回る結果となりました。

以上により、売上高155億84百万円（前年同期比7.6%減）、営業利益5億97百万円（同25.1%減）、経常利益8億8百万円（同17.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益4億81百万円（同20.9%減）となりました。

各セグメントの経営成績は、以下のとおりであります。

#### ① 管工機材分野

管工機材分野につきましては、ビル設備分野製品である「ビニコア」や都市型水害対策製品である「雨水貯留浸透槽」は前年に引き続き好調でありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う新設住宅着工戸数の落ち込みの影響等により、当社の主力製品である戸建住宅向け製品の売上高は、前年同期を下回りました。また、利益面につきましても、経費の抑制と生産の合理化に取り組んでまいりましたが、前年同期を下回る結果となりました。

以上により、売上高は140億73百万円（前年同期比6.9%減）、セグメント利益7億72百万円（同7.7%減）となりました。

#### ② 水処理分野

水処理分野につきましては、多様な水処理システムの積極的な提案活動を行い、食品関係を中心とした工事及びメンテナンス業務の受注を図るとともに、収益改善を行うべく、商材販売についても注力してまいりました。

売上面では、大型工事案件の売上などにより、前年同期を上回りましたが、利益面では、原価低減と経費削減に努めたものの改善には至らず、前年同期を下回る結果となりました。これは、主に工事案件の利益率が低いことによるものですが、注力している排水処理設備のメンテナンス業務の受注や商材販売の成果は着実に表れてきております。

以上により、売上高は5億87百万円（前年同期比38.5%増）、セグメント損失85百万円（前年同期は、62百万円のセグメント損失）となりました。

#### ③ 各種プラスチック成形分野

各種プラスチック成形分野につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う製造業の需要低迷・業績不振などから、主要得意先からの受注額が大幅に減少し、売上高、利益ともに前年同期を大きく下回る結果となりました。

受注状況は、一部の取引先において、緩やかではありますが回復の兆しが見られますが、国内製造業全般的に回復が鈍い中、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前の水準に戻るには相応の時間を要し、引き続き厳しい状況が続くものと想定されます。

以上により、売上高11億72百万円（前年同期比26.5%減）、セグメント損失84百万円（前年同期は、23百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べ1百万円減少し、438億88百万円となりました。これは主として、減価償却等により有形固定資産が減少したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ4億79百万円減少し、70億43百万円となりました。これは主として、賞与支給により賞与引当金が減少したことや、未払法人税等が減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ4億77百万円増加し、368億44百万円となりました。これは主として、その他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年10月30日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、公表した業績予想につきましては今後も新型コロナウイルス感染症の影響が暫くは続くものと想定し、入手可能な情報や予測等に基づき算定しておりますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって状況が更に深刻化することは想定しておらず、その影響額は織り込んでおりません。引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を見極めながら、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,449	11,480
受取手形及び売掛金	5,282	5,206
電子記録債権	3,083	3,127
有価証券	1,500	2,600
商品及び製品	2,116	2,015
仕掛品	558	577
原材料及び貯蔵品	533	516
その他	588	667
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	25,110	26,188
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,111	13,065
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,040	△7,212
建物及び構築物(純額)	6,071	5,852
機械装置及び運搬具	12,324	12,162
減価償却累計額及び減損損失累計額	△10,941	△11,007
機械装置及び運搬具(純額)	1,382	1,155
工具、器具及び備品	18,263	17,988
減価償却累計額及び減損損失累計額	△17,952	△17,664
工具、器具及び備品(純額)	310	324
その他	132	150
減価償却累計額	△7	△20
その他(純額)	124	130
土地	4,497	4,497
建設仮勘定	65	9
有形固定資産合計	12,452	11,968
無形固定資産		
ソフトウェア	158	105
その他	23	44
無形固定資産合計	182	150
投資その他の資産		
投資有価証券	5,496	5,095
繰延税金資産	166	13
その他	632	622
貸倒引当金	△150	△150
投資その他の資産合計	6,145	5,581
固定資産合計	18,780	17,700
資産合計	43,890	43,888

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,914	2,768
電子記録債務	451	473
短期借入金	430	390
未払法人税等	342	22
役員賞与引当金	37	26
賞与引当金	379	209
固定資産撤去費用引当金	20	20
その他	1,897	1,865
流動負債合計	6,475	5,777
固定負債		
長期借入金	—	40
繰延税金負債	—	204
役員株式給付引当金	19	32
退職給付に係る負債	600	549
資産除去債務	224	234
その他	204	205
固定負債合計	1,048	1,265
負債合計	7,523	7,043
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,387	3,387
資本剰余金	6,363	6,363
利益剰余金	26,854	26,812
自己株式	△1,045	△1,045
株主資本合計	35,559	35,517
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,111	1,596
退職給付に係る調整累計額	△304	△269
その他の包括利益累計額合計	807	1,327
純資産合計	36,367	36,844
負債純資産合計	43,890	43,888

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	16,863	15,584
売上原価	11,477	10,582
売上総利益	5,385	5,001
販売費及び一般管理費	4,586	4,403
営業利益	798	597
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	84	106
受取賃貸料	66	60
貸倒引当金戻入額	—	0
その他	41	48
営業外収益合計	198	221
営業外費用		
支払利息	2	3
賃貸費用	7	7
貸倒引当金繰入額	0	—
その他	5	0
営業外費用合計	15	11
経常利益	981	808
特別利益		
固定資産売却益	0	3
その他	—	0
特別利益合計	0	3
特別損失		
固定資産売却損	16	0
固定資産除却損	10	3
減損損失	14	—
その他	0	0
特別損失合計	42	4
税金等調整前四半期純利益	939	807
法人税、住民税及び事業税	268	195
法人税等調整額	62	130
法人税等合計	331	326
四半期純利益	608	481
親会社株主に帰属する四半期純利益	608	481



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	608	481
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	305	484
退職給付に係る調整額	△35	35
その他の包括利益合計	269	519
四半期包括利益	877	1,000
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	877	1,000

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(取締役に対する業績連動型株式報酬制度)

当社は、2017年6月27日開催の第63回定時株主総会決議に基づき、取締役(社外取締役を除きます。以下同じ。)を対象とする業績連動型株式報酬制度(以下、「本制度」といいます。)を導入しております。

本制度は、当社の業績及び株式価値と取締役の報酬との連動性をより明確にし、取締役が株価上昇によるメリットを享受するのみならず株価下落リスクをも負担し、株価の変動による利益・リスクを株主の皆様と共有することで、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的としております。

①取引の概要

本制度は、当社が金銭を拠出することにより設定する信託(以下「本信託」といいます。)が当社株式を取得し、業績達成度等一定の基準に応じて当社が各取締役に付与するポイントの数に相当する一定数の当社株式が本信託を通じて各取締役に對して交付されるという、業績連動型の株式報酬制度です。なお、取締役が当社株式の交付を受ける時期は、原則として取締役の退任時です。

②信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。前連結会計年度の当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、1億44百万円、117,400株、当第3四半期連結会計期間の当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、1億44百万円、117,400株であります。

③総額法の適用により計上された借入金の帳簿価額

該当事項はありません。

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による、新設住宅着工戸数の減少等の影響により、当連結会計年度の業績は悪化が見込まれ、当連結会計年度中はその影響が続くと仮定を置いて会計上の見積り(主として、繰延税金資産の回収可能性等)を実施しております。

なお、前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)に記載した新型コロナウイルス感染症の終息時期等を含む仮定については重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	管工機材分野	水処理分野	各種 プラスチック 成形分野	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	15,110	423	1,328	16,863	—	16,863
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	266	266	△266	—
計	15,110	423	1,595	17,129	△266	16,863
セグメント利益又は 損失(△)	837	△62	23	798	0	798

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位:百万円)

	管工機材分野	水処理分野	各種プラスチック 成形分野	全社・消去	合計
減損損失	—	14	—	—	14

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	管工機材分野	水処理分野	各種 プラスチック 成形分野	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	14,073	587	924	15,584	—	15,584
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	247	247	△247	—
計	14,073	587	1,172	15,832	△247	15,584
セグメント利益又は 損失(△)	772	△85	△84	602	△4	597

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

報告事項はありません。